

2018年度 環境経営レポート

(対象期間:2018年11月~2019年1月)



福山三菱自動車販売株式会社

〒720-0838 広島県福山市瀬戸町大字山北130番地2
TEL 084-951-1530(代) FAX 084-951-2995

発行日 : 2019 (平成31) 年 3月 1日

目次

1. 環境経営方針	01
(1) 基本理念	
(2) 環境方針	
2. 組織の概要、認証・登録の対象範囲、アクセス	02
(1) 名称及び代表者名	
(2) 所在地	
(3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先	
(4) 事業内容	
(5) 事業の規模	
(6) 事業年度	
3. 環境経営組織図及び役割・責任表	03
4. 運用期間の実績	04
5. 環境活動計画及び取組結果とその評価、次年度の取組内容	05
6. 環境関連法規等の遵守状況の評価の結果、代表者による全体の評価と見直し	06
7. 福山三菱自動車の取組み、次世代店舗	07
電動DRIVE STATION 福山本店	
8. 福山三菱自動車の取組み	08～09
経営協議会、朝礼、清掃活動	

環境経営方針

《基本理念》

私たち福山三菱自動車販売株式会社は、1946年の設立以来72年にわたり広島県東部地区を活動範囲とし、新車・中古車販売、整備、保険代理業等を行なっております。多くのお客様に満足していただくため、地域に根ざした活動を展開しておりますが、このたび新たに環境保護活動にも、全社員で取り組むこととなりました。よって環境に優しい目標を掲げ、継続的に環境負荷の低減に取り組んでいくことを、ここに宣言いたします。

《環境方針》

福山三菱自動車販売株式会社は、自動車販売・自動車整備を主とする事業活動において、環境負荷の低減を図るために、全社一丸となって自主的・積極的に、環境への取組を推進します。

1. 環境関連法規制や当社が約束したことを遵守します。
2. 二酸化炭素排出量の削減を推進します（電気、ガソリン、軽油、LPG）。
3. 廃棄物排出量の削減及び廃棄物の再生利用を推進します。
4. 水道使用量の削減を推進します。
5. 化学物質使用量の削減（或いは適正管理）を推進します。
6. 環境に配慮した自動車（または用品）の販売を推進します。
7. 毎月一度の、社内美化・地域清掃活動への参画
8. 本方針を全従業員に周知徹底します。



制定日： 2018年11月1日

福山三菱自動車販売株式会社
代表取締役社長 藤井 晃久

《組織の概要》

(1) 名称及び代表者名

福山三菱自動車販売株式会社
代表取締役社長 藤井 晃久

(2) 所在地

本社・福山本店 〒720-0838 広島県福山市瀬戸町大字山北130番地の2
南蔵王店 〒721-0973 広島県福山市南蔵王町4-18-22
府中店 〒726-0013 広島県府中市高木町416番地
駅家店・クリーンカー 駅家 〒720-0001 広島県福山市御幸町上岩成858-1

(3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先

責任者：常務取締役 営業本部長 旗手 賢二 TEL:084-951-1530
担当者：取締役 総務部長 兼 営業企画部長 秋山 尚輝 TEL:084-951-1530
E-mail: fukuyama@fuku-be-mmc.co.jp

(4) 事業内容

乗用車・商用車・軽自動車の新車販売、中古自動車の販売、農機具の販売・修理、
自動車の点検及び修理、自動車保険・損害保険代行業務

(5) 事業の規模

年間売上高 125,734 万円 (2017年度実績)

	本社 福山本店	南蔵王店	府中店	駅家店 クリーンカー 駅家	合計
従業員	40 名	11 名	8 名	13 名	72 名
延べ床面積	2202.36 m ²	1016.33 m ²	728.4 m ²	339.8 m ²	4286.89 m ²

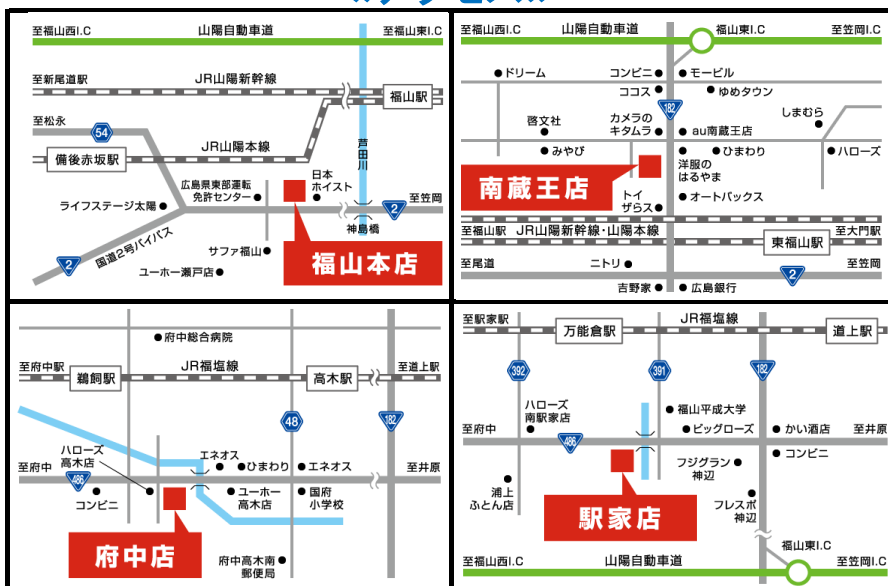
(6) 事業年度 4月～翌3月

《認証・登録の対象範囲》

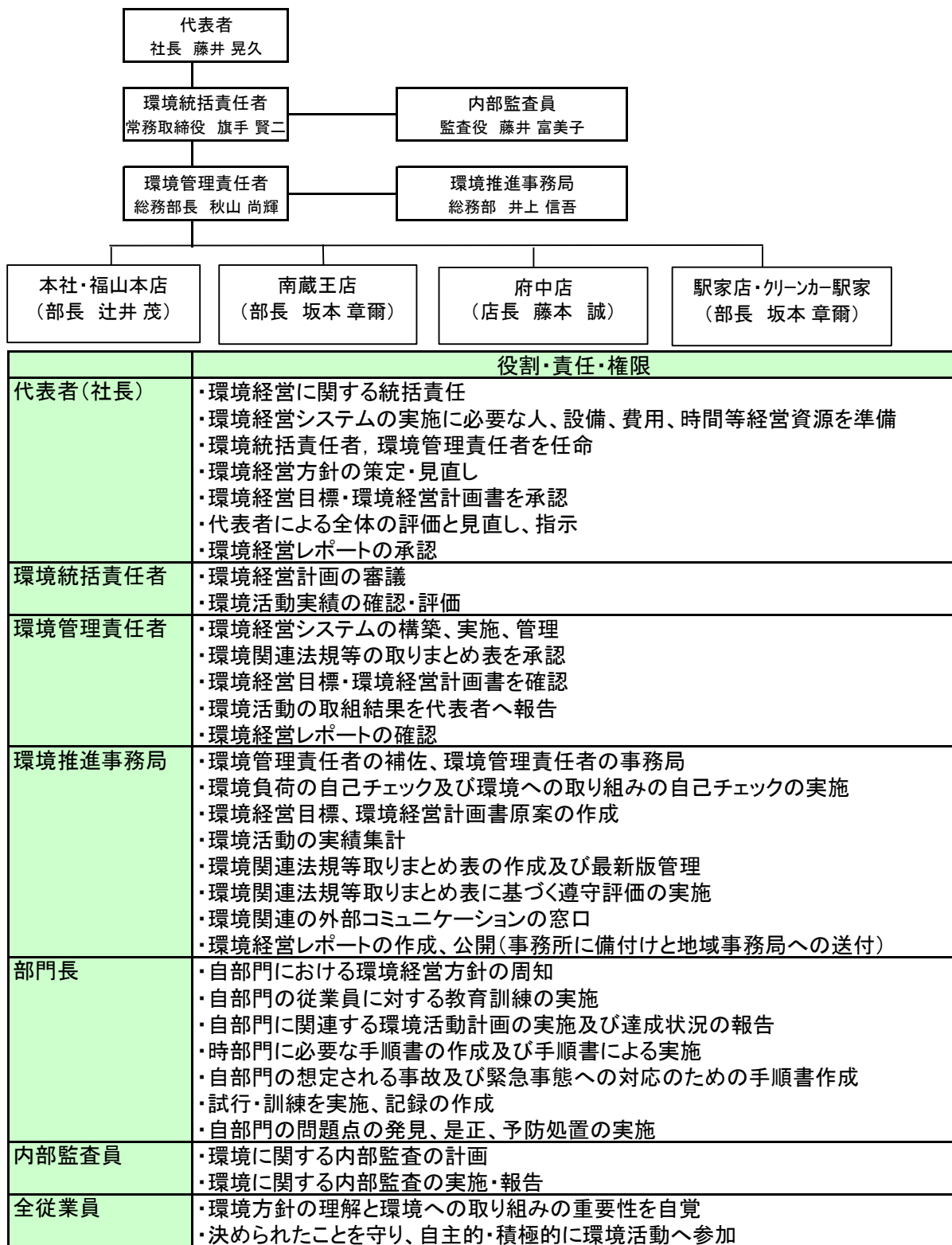
登録組織名： 福山三菱自動車販売株式会社
対象事業所： 本社・福山本店
 南蔵王店
 府中店
 駅家店・クリーンカー 駅家

活動範囲： 乗用車・商用車・軽自動車の新車販売、中古自動車の販売、農機具の販売・修理、
 自動車の点検及び修理、自動車保険・損害保険代行業務

《アクセス》



《 環境経営組織図及び役割・責任表 》



運用期間の目標と実績、今後の目標

項目	年度	運用期間 2018年11月～2019年1月の目標と実績					中期目標			
		2017年 11月～1月	2018年11月～ 2019年1月		結果		2017年	2019年	2020年	2021年
		基準値	目標	実績	達成率	評価	基準値	目標	目標	目標
I. 二酸化炭素 排出量合計	kg-CO ₂	87,815	86,059	78,265	110%	○	376,539	365,242	361,477	357,712
	対基準		△2%	△9%				△3%	△4%	△5%
電力使用量削減 (排出係数：0.677)	kWh	92,893	91,035	82,024	111%	○	374,555	363,318	359,573	355,827
	kg-CO ₂	62,889	61,631	55,530			253,574	245,967	243,431	240,895
対基準			△2%	△10%				△3%	△4%	△5%
ガソリン使用量削減 (排出係数：2.32166)	ℓ	10,558	10,347	9,548	108%	○	41,310	40,071	39,658	39,245
	kg-CO ₂	24,512	24,022	22,167			95,908	93,031	92,071	91,112
対基準			△2%	△8%				△3%	△4%	△5%
軽油使用量削減 (排出係数：2.62434)	ℓ	2,863	2,806	1,486	189%	○	9,658	9,368	9,272	9,175
	kg-CO ₂	7,513	7,363	3,900			25,346	24,585	24,332	24,079
対基準			△2%	△47%				△3%	△4%	△5%
プロパン使用量削減 (排出係数：3.00196)	kg	138	135	189	72%	×	570	553	547	542
	kg-CO ₂	414	406	567			1,711	1,660	1,643	1,626
対基準			△2%	40%				△3%	△4%	△5%
II. 一般廃棄物の削減 (古紙・ダンボール)	kg	566	555	0	—	※1	3,466	3,362	3,327	3,293
	対基準		△2%	—				△3%	△4%	△5%
産業廃棄物の削減 (廃油) ※2	kg	7,450	7,301	2,500	292%	○	28,150	27,306	27,024	26,743
	対基準		△2%	△66%				△3%	△4%	△5%
産業廃棄物の削減 (廃タイヤ) ※2	本	759	744	131	568%	○	1,977	1,918	1,898	1,878
	対基準		△2%	△82%				△3%	△4%	△5%
産業廃棄物の削減 (廃バッテリー) ※2	個	204	200	0	—	※1	630	611	605	599
	対基準		△2%	—				△3%	△4%	△5%
III. 水使用量削減	m ³	635	622	626	99.4%	△	2,191	2,125	2,103	2,081
	対基準		△2%	1%				△3%	△4%	△5%
IV. 化学物質の適正管理 PRTR制度対象外使用量	kg	15.0	14.7	2.0	735%	○	52	50	50	49
	対基準		△2%	△85%				△3%	△4%	△5%
V. エコカーの販売 PHEV, クリーンディーゼル等	台	3	4	5	125%	○	12	20	24	28
	対基準		133%					167%	200%	233%
VI. 環境整備の促進 安心点検・法定点検・車検	台	1,833	1,851	1,844	99.6%	△	7,332	7,552	7,552	7,625
	対基準		101%					102%	103%	104%

注) 評価欄にて、○：達成、△：やや未達成（基準値よりは良い）、×：未達成

※1：実績0となっているのは、一定量保管して排出するようにしているため。

※2：産業廃棄物の削減（廃油、廃タイヤ、廃バッテリー）は、整備業務量によって増減するため目標数値は見直したい。

＜環境活動計画及び取組結果とその評価、次年度の取組内容＞

◎よくできた ○まずまずできた △あまりできなかった ×全くできなかった

取り組み計画	達成状況	評価結果と次年度の取組内容
電力使用量の削減 (目標達成)		
・空調温度の適正化(冷房28℃暖房20℃)	○	以前よりクールビズ・ウォームビズが定着しているため、比較的受け入れやすい環境にある。
・不要照明の消灯	◎	以前より定着しているため問題なし。常に継続。
・作業工程の待機時間短縮	△	年末年始を挟む時期だったため、日没後の作業が増えた。作業効率を上げ残業を減らし、電力の使用量を落とす。
・コンプレッサーのエア洩れ点検	○	定期点検を行なっているため問題なし。常に継続。
ガソリン使用量の削減 (目標達成)		
・不要なアイドリングストップ	◎	年末年始により営業業務として車両の使用頻度が上がる。エコドライブを意識して、余裕を持った運転に心がける。
・効率的なルートで引取納車	○	事故に気をつけ安全運転に努める。
・エリア別営業活動の見直し	△	カレンダー配布の時期に重なり、車両頻度が上がる。事前連絡により無駄の無い訪問活動を心がける。
軽油使用量の削減 (目標達成)		
・効率的な移動	○	車載車なので、出来るだけ空の状態では走らせない。
・急加速・急停車の防止	○	予測運転を心がけ、事故防止に努める。
一般廃棄物の削減		
・実態調査	○	取組みは出来ているが、さらに細分化できるか考える。
・分別の徹底	◎	月に一度の清掃日に、分別コーナーの整理整頓に心がける。
・シュレッダー廃紙のリサイクル化	◎	引き取り業者との間で話が出来ている。
産業廃棄物の削減 (目標達成)		
・実態調査	◎	排出量のチェックと保管場所の清掃。
・分別の徹底	△	表示・分別により、状態を把握しやすくすること。
・保管場所の掲示板を設置	○	すでに設置済みである。古くなったものは交換する。
水道水使用量の削減 (目標ほぼ達成)		
・洗車機の利用推進	○	節水につながるため、手洗車からの切り替え。
・節水シールの貼り付け	○	すでに設置済みである。古くなったものは交換する。
化学物質使用量の削減 (目標達成)		
・有害性物質の表示の徹底	○	施錠できる保管場所でラベルを向けて表示管理。
・容器の蓋の徹底	○	原則、使用者は責任を持って蓋をする。
・使用量の把握	◎	環境配慮型塗料を使用し、使用量も把握できている。
環境(エコ)カーの販売促進 (目標達成)		
・電気自動車、ハイブリッド車の販売 (i-MiEV, アウトランダーPHEV)	△	高額商品なので即結果に繋がらないが、環境問題と関連付けて販売していく。
・電動ドライブステーションを通してのエコを取り入れた生活環境の提案	○	ライフスタイルコーナーを活用して、V2H機器の有効性を伝え、クリーンな低炭素社会の必要性を訴求する。
点検入庫の促進 (目標ほぼ達成)		
・定期点検を通してのエコ促進	◎	安心点検の入庫上昇に伴い修理件数の減少
・適時交換で顧客クレーム削減	◎	こまめな対応でクレーム数は減少しつつある。
・廃棄率低減	○	分別を細分化してリサイクルに努める。

《環境関連法規等の遵守状況の評価の結果》

法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りである。

適用される法規制	遵守する事項	遵守評価
廃棄物処理法	保管基準の遵守、収集運搬・処分業者との適正な契約、マニフェストの交付・保存・確認・交付状況等報告書の提出	適合
騒音・振動規制法	指定地域内の特定施設の届出、規制基準の遵守	適合
水質汚濁防止法	公共用水域への排出水の排出基準の遵守、特定施設の届出、水質の測定と記録、事故時の届出	適合
下水道法	公共下水道を使用して下水を排水する特定事業場・特定施設の届出、排水基準の遵守、水質の測定と記録、事故時の届出	適合
浄化槽法	浄化槽の設置の届出、保守点検、清掃、水質定期検査の実施	適合
フロン排出抑制法	業務用空調機器（第1種特定機器）の簡易点検、記録簿の保管	適合
高圧ガス保安法	容器の定期点検	適合
消防法	(防火対象物)防火管理者の届出、消防計画の作成、避難訓練、消火設備・火災警報設備の点検整備、避難設備の維持 (危険物取扱所)少量危険物等の貯蔵取扱届出	適合

環境関連法規制等の遵守状況の評価の結果、環境関連法規制等は遵守されていることを確認しました。
なお、環境法規制等への違反、訴訟、環境上の苦情等も過去3年間ありませんでした。

《代表者による全体の評価と見直し》

エコアクション21は始まったばかり。社員の意識付けはまだ十分とはいえない。
目に見える数値目標を意識的に追いかけるのではなく、気がつけば目標数値をクリアできていた
という感じに、意識改革ができるのが理想。
環境活動を通じて地域社会・顧客からの信頼向上につながる活動に結びつけていきたい。

2019年1月31日
代表取締役社長 藤井 晃久

電動 DRIVE STATION 福山本店



電動車両(EV・PHEV)の意義と価値をお伝えする次世代店舗「電動DRIVE STATION」として2018年12月9日(日)に福山本店がリニューアルオープンしました。「電動DRIVE STATION」は、電動車両のエネルギーソースの多様性と、外部給電機能がもたらす災害時の価値を具現化した店舗です。太陽光発電システムとV2H機器を備え、太陽光発電による電動車両への充電と、電動車両から店舗への電力供給を可能としています。

また、エネルギーや環境をテーマとしたワークショップや防災イベントの開催、防災に関する取り組みなどの地域情報を自治体と連携して発信する活動等を通じ、地域社会への貢献を目指しています。

外部給電機能がもたらす災害時の価値を体感

ライフスタイルコーナー

「停電時でも、いつもどおりの生活」
という価値を体感

★停電デモンストレーション★

ライフスタイルコーナーへの系統電源(電力会社の電気)の供給を止め、停電発生時と同じ状況を作り出します。その時V3H機器が、電動車両と太陽光発電システムからどのように電力を供給するのか体感して頂きます。



「MiEV power BOX」、アウトランダーPHEV
「100V AC電源」の実力を体感

★1500W体感デモンストレーション★

三菱自動車の電動車両は、電源供給装置「MiEV power BOX (ミーブ パワーボックス)」や、アウトランダーPHEVの「100V AC電源」を使って、最大1500Wの出力で電化製品に電力を供給することができます。

複数の電化製品を様々な組み合わせで動かしながら実際の消費電力を確認。



テレビ



携帯電話



卓上ランプ



冷蔵庫

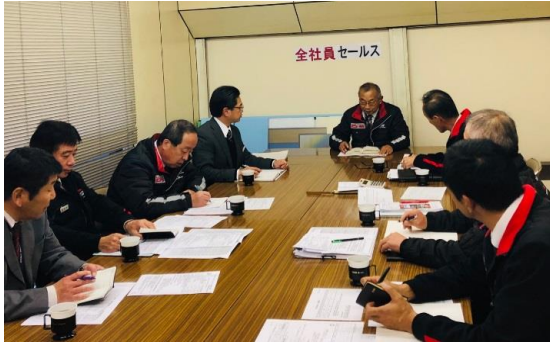


電気毛布



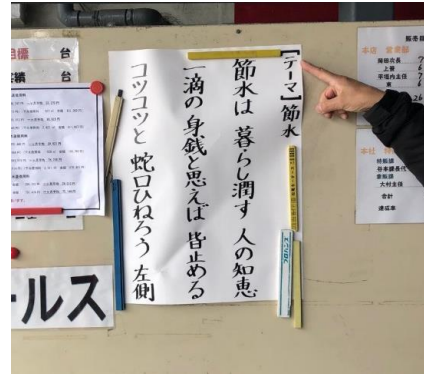
電子レンジ

《 福山三菱自動車の取り組み 》



【経営協議会での打ち合わせ風景】

2019年度より本格的導入を考えるエコアクション21に向けて、本社・各店舗の拠点長が集まり毎週一度打ち合わせを行ない、方向性を合わせる。



【朝礼での周知徹底】

経営協議会で決まった内容を、朝礼を利用して周知徹底させます。その際、節電や節水など身近なエコ活動に繋がるような発表も1週間単位で行われる場合もあります。



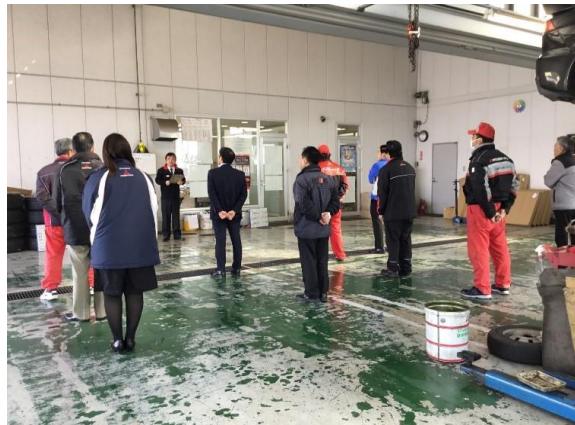
＜本社・福山本店＞



＜南蔵王店＞



＜府中店＞



＜駅家店・クリーンカー駅家＞

《 清掃活動 》

月に一度の清掃活動は、社内だけでなく社外も行ないます。



＜本社・福山本店＞



＜南蔵王店＞



＜府中店＞



＜駅家店・クリーンカー駅家＞

《 その他 》

産業廃棄物置き場や、廃油保管場所など常に整理整頓に努め、スペースを有効に使うように心がける。

事務所内のスイッチには節電、水道には節水、エアコンには温度設定のプレートをつけており、社員の自然な意識付けに繋げる。





**MITSUBISHI
MOTORS**

福山三菱自動車販売株式会社